

20 代がリードする岩盤浴、マッサージ、ヨガの利用

～ 「癒し・美・健康」サービスの利用実態調査結果 < 概要 > ～

調査結果の概要

1. 「癒し・美・健康」サービスをこの 1 年間に利用したのは全体のほぼ半数であった。年代によって差がみられ、若いほどよく利用しており、20 代が利用の牽引者である。
2. 利用が多いのは「岩盤浴」「マッサージ・整体」「美顔・フェイシャルエステ」である。
3. 今後新たに利用したいサービスの上位は「マッサージ・整体」「岩盤浴」「足つぼマッサージ・リフレクソロジー」「ヨガ・ピラティス」で、これからの利用増が期待される。
4. 利用の際に重視するのは「料金」が最も多く、2 番目は「施術・技術のレベル」である。
5. 半年間にかけての費用は「1 万円未満」が 45.4%、「1 万円以上 3 万円未満」が 28.8%。1 ヶ月平均で 5 千円未満が全体の 3 / 4 を占める。

調査概要

調査対象：熊本市内在住の女性モニター 500 人

調査時期：平成 18 年 5 月 18 日～28 日

調査方法：郵送法

有効回答数：467 人(有効回答率 93.4%)

回答者の属性

年代	人数	%
20代	60	12.8
30代	111	23.8
40代	88	18.8
50代	101	21.6
60代	107	22.9
全体	467	100.0

* 本調査における「癒し・美・健康」サービスとは各種マッサージやエステティック、岩盤浴、ヨガ・ピラティス、ネイルアートなどのサービスを指す。

1. 日常生活のストレス、美への関心度

日常生活の中でストレスや疲れが溜まっているか(以下「ストレス」)どうかを尋ねたところ、全体の65.2%が「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した(図表1)。年代別では40代(80.6%)と30代(76.4%)がストレスを抱えている人が多く、逆に少なかったのは60代(42.0%)である。

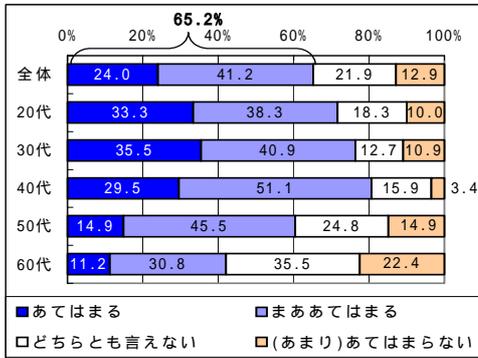
また、キレイになることや肌の老化防止に関心があるか(以下「美への関心」)を尋ねたところ、全体では74.5%が「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した(図表2)。とりわけ20代は90.0%と圧倒的に高く、年齢が若いほど美への関心が高くなっている様子がはっきりと表れた。

次に定期的に運動をしているかを尋ねたところ、全体では40.5%とほぼ4割が「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した(図表3)。年代別では60代が56.1%と最も高く、最も低かったのは40代(26.1%)であった。

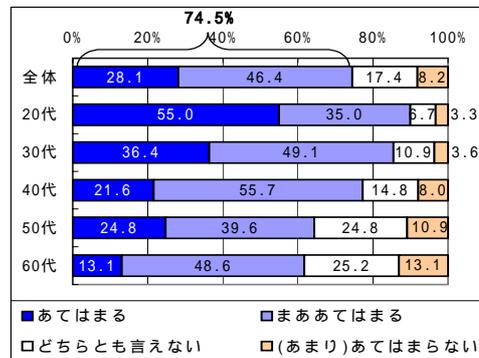
また普段の生活でリラックスできる場や時間があるかを尋ねたところ、全体では62.2%が「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した(図表4)。年代別では50代と60代でそれぞれ72.3%、74.7%と高かった。

このように年代別にみると、美への関心が高い20代・30代、ストレスや疲れが溜まっている40代、ストレスが少なくリラックスする余裕がある50代・60代という特徴が浮かび上がってきた。

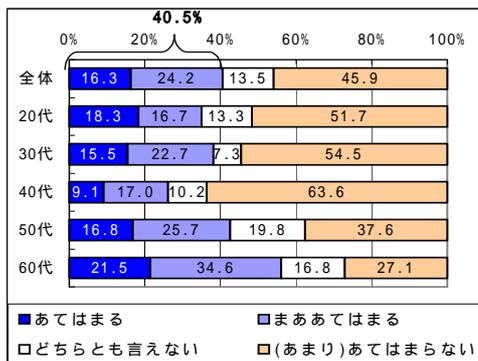
図表1 ストレスや疲れが溜まっている



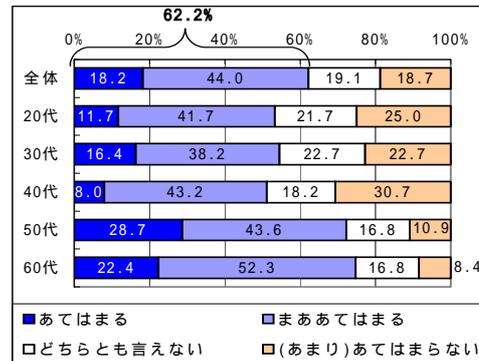
図表2 キレイになる方法や肌の老化防止に関心がある



図表3 定期的に運動している



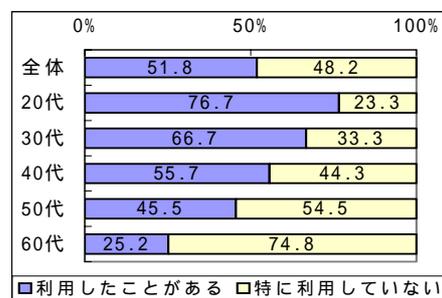
図表4 リラックスできる空間・時間がある



2. 「癒し・美・健康」サービスの利用の有無

「癒し・美・健康」の12のサービスについて、この1年間の利用の有無をみると、「利用したことがある」は51.8%、「特に利用したことはない」は48.2%でほぼ半々という結果であった(図表5)。20代では76.7%とほぼ8割近かったが、年代が上がるにつれて低下し、60代では25.2%にまで下がった。年代が若いほどサービスの利用が多い傾向がはっきりと表れている。

図表5 この1年間の「癒し・美・健康」サービスの利用の有無



3. サービスの利用状況と今後の利用

(1) この1年間の利用状況

12のサービスの各々について利用状況(複数回答)をみると、「岩盤浴」(21.0%)と「マッサージ・整体(クイックマッサージやタイ式・台湾式などを含む)」(20.8%)だけが全体の2割を超えていた(図表6)。ここ2、3年で急速に増えてきた岩盤浴の人気の高さが目立っている。次いで「美顔・フェイシャルエステ」(18.2%)が続き、この3つのサービスが比較的よく利用されているのが分かる。以下、「脱毛」(9.9%)、「足つぼマッサージ・リフレクソロジー」(9.2%)、「アロママッサージ」(6.4%)、「ヨガ・ピラティス」(6.0%)と続いているが、いずれも1割に満たず、まだまだ利用は少ない。半数近い48.2%が「特に利用していない」ためか、全体の中でみると個々のサービスの利用率は低くなってしまいうようだ。

なお、この中で「足つぼマッサージ・リフレクソロジー」と「アロママッサージ」はいずれもマッサージ系に属していることを考えると、最も多く利用されるサービスはマッサージだと言えるだろう。

年代別では20代が最もよく利用しており、「岩盤浴」が最も多く43.3%と4割を超え、続いて「マッサージ・整体」と「脱毛」が33.3%、「美顔・フェイシャルエステ」が31.7%と3割を超えていた。「癒し・美・健康」サービスの利用は、若い女性主導の市場とも言えそうである。

(2) 今後の利用意欲

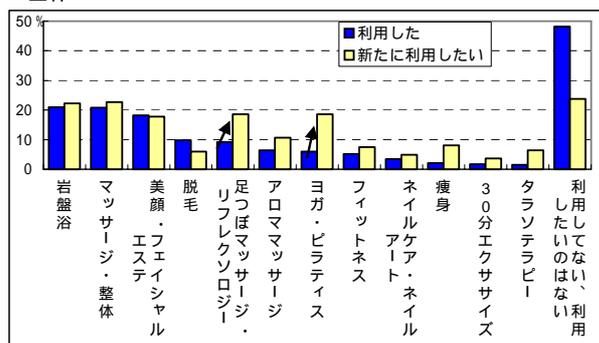
次に「今後、新たに利用したいサービスは何か」を尋ねた結果と1年間の利用状況を対比したところ、ほとんどのサービスで今後の新たな利用意欲のほうが高くなっており、成長市場だと言えるだろう。

全体では「マッサージ・整体」(22.7%)と「岩盤浴」(22.3%)の回答が多く、いずれも2割を超えていた(図表6)。この2つは1年間の利用状況も1位と2位を占めてお

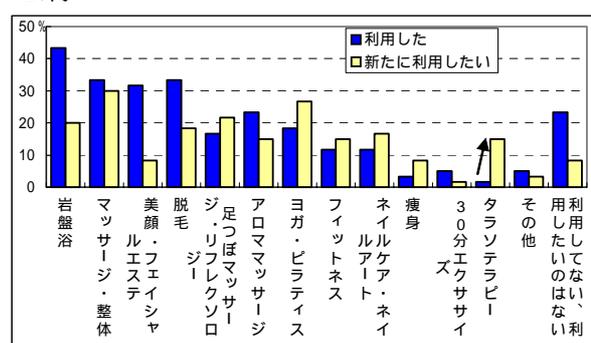
り、最も存在感を示している。次いで「足つぼマッサージ・リフレクソロジー」と「ヨガ・ピラティス」(いずれも 18.6%)、「美顔・フェイシャルエステ」(17.8%)が続いている。「足つぼマッサージ・リフレクソロジー」と「ヨガ・ピラティス」は実際の利用よりも今後の利用意欲のほうが10ポイント近く上回っており、関心は高いものと思われる。

年代別にみると、20代はすでにサービスを利用している割合が高いためか、今後の新たな利用意欲が上回っているのは5項目に過ぎなかった。30代で目立っているのは「ヨガ・ピラティス」(29.7%)で、40代では「美顔・フェイシャルエステ」(29.5%)が最も多かったのが特徴的である。50代、60代は他の年代に比べると、実際の利用が少なかつただけにほとんどのサービスに対して新たな利用意欲のほうが多くなっているが、「利用したいものはない」もそれぞれ31.7%、38.3%と40代以下に比べるとかなり多く、関心を示さない層が多いのも特徴的である。

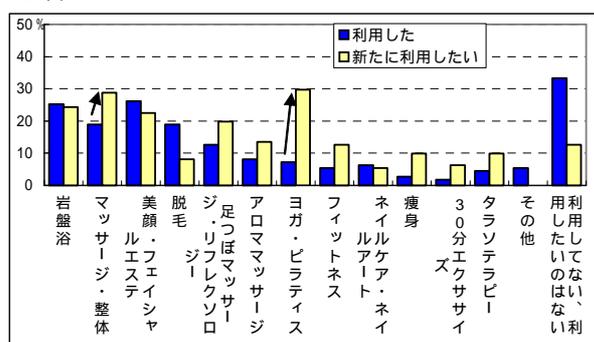
図表6 サービスの利用状況(複数回答)
<全体>



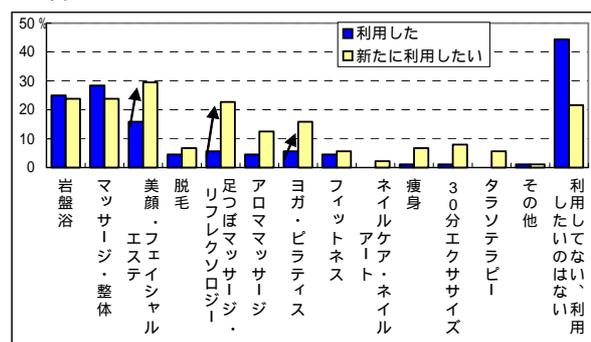
<20代>



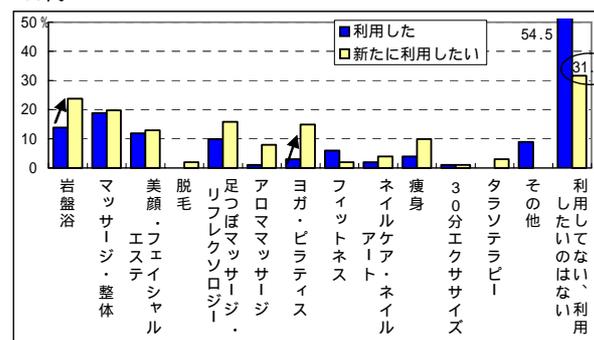
<30代>



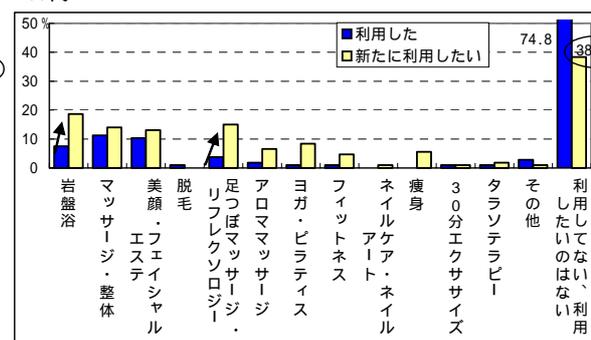
<40代>



<50代>



<60代>



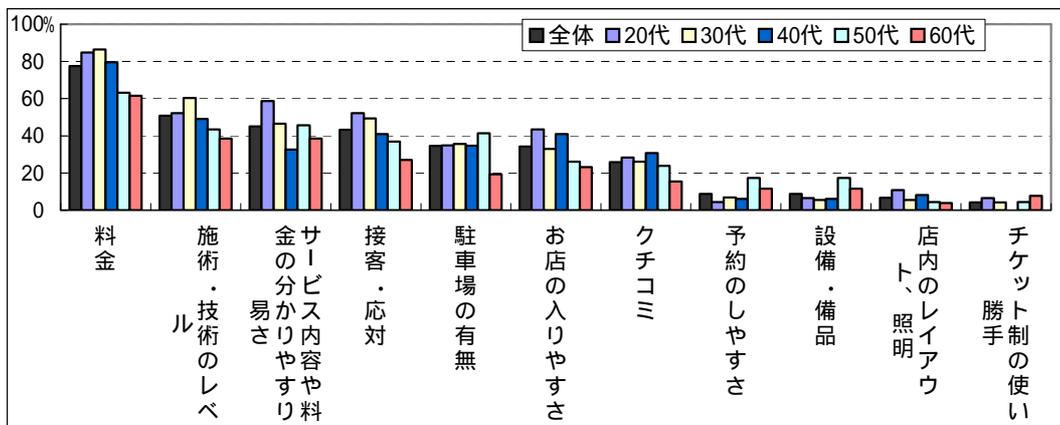
注) 比較のためスケールを同一にしたので、50代と60代の「利用していない」の図は欄外に出た。数値はそれぞれ54.5%と74.8%である。

4. 利用の際、重視すること

(サービスを利用したと回答した242人に尋ねた結果である)

これらのサービスを利用する際に重視することで圧倒的に多かったのは「料金」で77.5%と8割近くにのぼり、2番目に多かった「施術、技術のレベル」(50.8%)とは25ポイント以上の差があった(図表7)。次いで、「サービス内容や料金の分かり易さ」(45.0%)、「接客、応対」(43.3%)が多く、「料金」の次に「人」が大きなウエイトを占めているのが分かる。特に20代、30代、40代は「料金」がほぼ8割に達しており、価格に見合う内容であるかを気にする度合いが強いと思われる。

図表7 利用の際、重視すること(複数回答)



5. 半年間の費用

この半年間の費用を尋ねたところ、「1万円以上3万円未満」が28.8%で最も多く、以下「5千円未満」(24.6%)、「5千円～1万円」(20.8%)であった(図表8)。1万円未満が45.4%と半数近くになり、3万円未満までを含めると74.2%と全体の3/4近くに達した。1ヶ月平均に換算すると5千円未満となり、それほど多い金額ではない。

年代別にみると、20代では3万円未満がちょうど半数で他の年代に比べて少なくなっており、「3万円～5万円」が21.7%、「5万円～10万円」が17.4%と金額がより高いほうへシフトしている。

図表8 半年間の費用

